

小學作文指南

卷二

7.58

511

館藏書會育教本日大

三	四	八	四
九	架	一	號
函		冊	

K121.8

17

2

K121.82

17

2

畠山健著

卷二

# 小學作文指南

松木氏藏版

No 9968

小學作文指南卷之二



畠山健 著



## ○第一課。形容詞ノ變格。(現在)

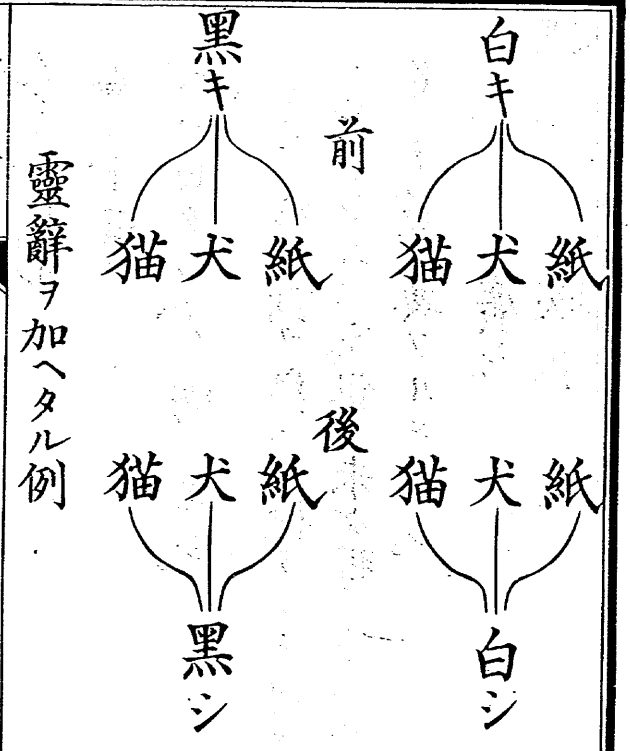
此ノ課ハ形容詞ノ變化ヲ教フル初歩ニシテ先ツ其ノ現在變格ヨリ始ム。現在變格ニニアリ。前變格トテ名詞ノ前ニ來タル者後變格トテ名詞ノ後ニ來タル者等是レナリ。其ノ前變格ハきゝき及びおるノ三ニシテ後ニ來タル

小學作文指南

卷之二

者ハ、（但下ノ）ハ省クヲ例トス及ビカ  
 リノ三ナリ。又之レニ各種ノ靈辭ヲ加フレバ  
 色々ノ意ヲ現ハスコトヲ得ルナリ。  
 第一 きーニテ終ル形容詞。

前 白キ。 赤キ。  
 後 白シ。 赤シ。



靈辭ヲ加ヘタル例

白キヲ見ル

黒シト云フ

犬ハ白クシテ、猫ハ黒シ。

○次ノ形容詞ヲ與ヘ生徒ヲシテ相應ノ名詞ヲ附ケシムベシ。但シ未ダ習ハザル漢字ハ假名ニテ書キ與フルモ宜シ。

廣キ。

狭キ。

廣シ。

狭シ。

赤キ。

高キ。

低キ。

厚キ。

深キ。

薄キ。

浅キ。

赤シ。

高シ。

低シ。

厚シ。

深シ。

薄シ。

浅シ。

第二ノキ、一ニテ終ル形容詞。

前

後

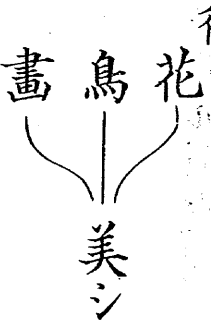
美クシキ。

前



美クシ。

後



靈辭ヲ加ヘタル例。

花ノ美シキヲ見ル。  
鳥ノ美シキヲ愛ス。  
畫ヲ美シト云ヘリ。

○次ノ形容詞ヲ與ヘ生徒ヲシテ相應ノ名詞ヲ加ヘシムベシ。

惡シキ。

惡シ。

愛シキ。

愛シ。

喜シキ。

喜シ。

嘆シキ。

嘆シ。

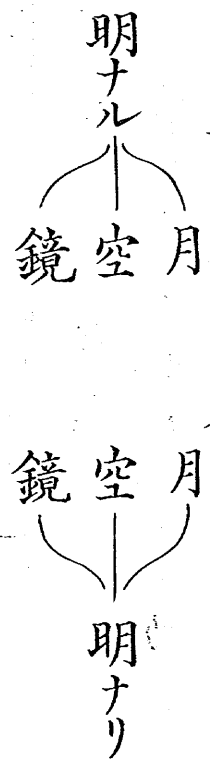
第三。ちりハあるちりト働キ連續ノ時ハよて或ハよしてニテ繋グ。

前

後

明ナル。 明ナリ。 明ニテ或(ニシテ)。

前 後



靈辭ヲ加ヘタル例

月明ナルヲ咏ズ。

鏡ノ明ナルハ心地善シ。

月ハ明ナルカ。

○次ノ形容詞ニ相應ノ名詞ヲ加ヘシムベシ。

静ナル。 静ナリ。 静ニテ(ニシテ)。

細ナル。 細ナリ。 細ニテ(ニシテ)。

平ナル。 平ナリ。 平ニテ(ニシテ)。

滑ナル。 滑ナリ。 滑ニテ(ニシテ)。

丈夫ナル。 丈夫ナリ。 丈夫ニテ(ニシテ)。

結構ナル。 結構ナリ。 結構ニテ(ニシテ)。

大造ナル。 大造ナリ。 大造ニテ(ニシテ)。

○第二課。形容詞變格。(關係)

此ノ課ハ形容詞ノ關係變格ヲ教フルヲ目的トス。形容詞ニモ過去現在未來ノ變格アレドモ反リテ之レヲ後ニスル方生徒ノ觀念ニ入リ易シ。關係變格トハ斯ク々々アル故斯ク々々スルナリト相關係セシメタル文ヲ爲ス者ナリ。故ニ此レモ現在變格ノ一ナリ。此ノ格ハ「けれバ」「おれバ」「ヲ以テ現ハス。假ヘバ水清ケレバ飲ム、家遠けれバ見えずナド云フガ如シ。け

れバ」「くあれバ」ト云フ意ナリ。水が清くあれバ飲む、家が遠くあれバ見えずト云シガ如シ。「おれバ」「よあれバ」ノ意ナリ。其ノ心ハ「けれバ」ト異ナル「ナシ。唯「おれバ」「ハ」ニテ終ル形容詞及ビ漢字音ノ形容詞ニ用キル者ト知ルベシ。又形容詞ノ變格ト共ニ働詞ノ變化アレドモ其ハ此ニハ大凡ニ教フルニ止リテ可ナリ。即チ左圖ノ如シ。

第一。けれバ。

水清

第一 家遠

一月暗

圖 山高

風寒

けれバ

飲ム。

急ガン。

見エズ。

上レズ。

衣服ヲ着ル。

○左ノ形容詞ニテ關係ノ文章ヲ綴ラシムベシ。

低シ。深シ。近シ。堅シ。面白シ。嬉シ。

重シ。輕シ。厚シ。薄シ。宜シ。

第二。かれバ。

第一 月明

二 日暖

圖 花綺麗

かれバ

能見エシ。

運動セシ。

咏メラル。

○左ノ形容詞ニテ關係ノ文章ヲ綴ラシムヘシ。

暖ナリ。柔ナリ。平ナリ。滑ナリ。

豊ナリ。幸ナリ。静ナリ。大造ナリ。

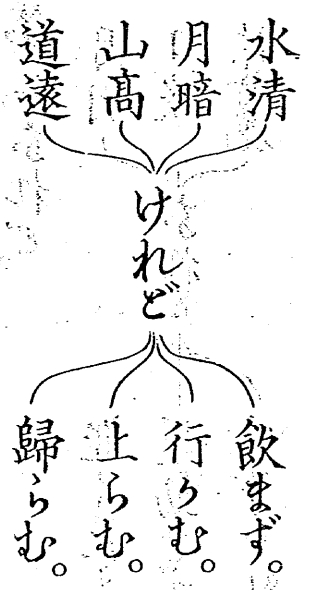


小學作教指綱 卷之二  
結構ナリ。冷ナリ。

○第三課。形容詞ノ變格(けれど、かれど)  
此ノ課ハ現在ニ其性質ヲ許可スレドモ吾ガ  
有様ハ之ニ反對スル意ヲ現ハス者ナリ。斯ク  
謂ヘバ甚混雜ナル者ヲ教フル者ノ如シト雖  
凡反テ實際ニハ常ニ用ナル者ナリ。此變格ハ  
けれど(けれど)かれど(かれど)ノ語尾ヲ用  
キル。之レヲ現在許可文ト云フ。此レ亦現在變

格ノ一ナリ。左圖ノ如シ。

第一。けれど。



○左ノ形容詞ニテ現在許可文ヲ綴ルベシ。

低シ。 深シ。 堅シ。 重シ。 輕シ。

黒シ。 白シ。 寒シ。 熱シ。 廣シ。  
狭シ。 麗シ。 青シ。

第二。おれど。



柔ナリ。 細ナリ。 粗末ナリ。 冷ナリ。  
○左ノ形容詞ニテ現在許可文ヲ綴レ。

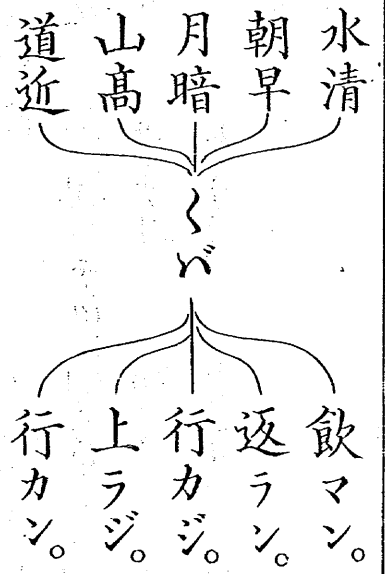
立派ナリ。 暖ナリ。 丈夫ナリ。

○第四課。 形容詞變格。(推量)

此ノ課ハ形容詞ノ推量ヲ教フルヲ以テ目的トス。何々デアアルナラバト云フ即チ推測ニシテ又現在變格ノ一ナリ。此ノ變格ハ「バ」ヲ以テ現ハスナリ。「バ」ハ「ク」アラバ「フ」約ナリ。假ヘバ清クアラバ「フ」約シテ「清ク」ト云ヒ「清ク」ラバ「フ」畧シテ「清ク」ト云フガ如シ。但シ形

容詞ノ「ク」ニ終ル者及ビ漢字音ナル者ハ「カ」  
 加ヘテ此ノ變格ヲ現ハス。此ノ課ノ語原  
 ハ種々混雜シタレドモ之レハ教師ノ參考ニ  
 止メ固トヨリ生徒ニ委シク講釋スベキニハ  
 アラズ。教授ノ際ニハ成ルベク實地ニ就キ實  
 事ニ徴シテ深ク觀念ヲ起サシムルヲ肝要ト  
 ス。其ノ變化ハ左圖ニ示スガ如シ。

第一圖



○左ノ形容詞ニテ推量文章ヲ綴ルベシ。  
 低シ。深シ。堅シ。重シ。輕シ。厚シ。  
 薄シ。面白シ。嬉シ。宜シ。

第二圖



○左ノ形容詞ニテ推測文章ヲ綴レ。

- 柔ナリ。 平ナリ。 滑ナリ。 豊ナリ。
- 幸ナリ。 静ナリ。 大造ナリ。 結構ナリ。
- 冷ナリ。

○第五課。口上文。

口上トハ口ニテ申スト云フ意ニテ極メテ單  
 簡ナル事ヲ傳フル手紙ノ文ナリ。手紙ノ文ヲ  
 教フルニハ先ツ書クベキ事柄ヲ教ヘ之ヲ言  
 葉ニテ充分ニ云ハシメ其ノ詞通りニ書キ下  
 サシメ更ニ之ヲ通俗ノ文ニ直サシムベシ。但  
 シ成ル可ク言葉通りニ書カシメテ不要ノ文  
 字ヲ省クヲ可トス。畢竟此ノ邊ニテハ言文一  
 致ノ主意ヲ取り言ニモ文ニモ唯誤レル所ノ

ミヲ改メ正スヲ以テ可トス。又候申ナドハル  
中等簡易ノ文字ニ限ル可シ。

朋友ニ本ヲ借ル文。

作文書をお貸し下された。

作文書をお貸し下された。

口上

作文書をお貸し下された。

月(日)

吉野花吉

富士野山云権

左ノ文ヲ右ノ書式ニナラヒテ書取ラシム  
ベシ。

朋友ヲ誘フ文。

明日は日乞うびふれが由あそびよ  
出出やされたく。

學校休ノ届。

今日は病を以て休み申す。

轉居ヲ知ラスル文。

私今一度萬年町を當地よりひきうつりぬ。

次ノ口上文及び返詞ヲ言葉ニテ云ヒ聞セ文

ニ綴リ取ラシムベシ。又豫テ存ルル付ナド

ノ語ヲ教フベシ。

一 貴君の申書を拝見致す。

二 申書下されぬ。

三 明日は運動會にお出でされぬ。

四 不快に付申すおねい。

五 は筆もらひゆるぎ申す。

六 ありがたう。

第六課。あど。

あどハ漢字ノ等ニテ物ヲ全ク數へ上ゲズ其ノ主ナル者ヲ上ゲテ他ヲ畧スル時ニ用ル

者ナリ。能ク此ノ意ヲ生徒ニ了解セシムベシ。

○設題

○牛馬羊犬猫ヲドヲ家畜ト云フ。

○チリメン、イトオリ、ハブタヘ、ナドハ善キ呉服

ナリ。

○靴ハ革、釘、糸、ナドニテ造ル。

○牛肉、卵、魚肉、ナドハ善キ食物ナリ。

○松、梅、モミヂ、ナドヲ庭ニ植ウ。

○第七課。よま。

よまハ場所人或ハ物ニ他ノ詞ヲ添ヘ加ヘテ之ヲ區別スルニ用キル靈辭ナリ。假ヘバ此所よま云々。彼所よま云々ト云ンガ如シ。

此所ニハ人アリ。 彼所ニハ人ナシ。

庭ニハ鳥アリ。 池ニハ魚アリ。

二郎ニハ本ヲ教フ。 太郎ニハ算術ヲ教フ。

鳥ニハ翼アリ。 魚ニハ鱗アリ。

○第八課。形容詞變格。(過去)  
此ノ課ハ形容詞ノ過去變格ヲ現ハス者ナリ。  
此ニモ前後ノ二變格アリ前變格ハ「かり」及  
「び」ナカリ「し」ノニシテ後變格ハ「かりき」ナリ  
「き」ナリ。又之レニ靈辭ヲ加フレバ種々ノ意ヲ  
現ハス。

第一圖

板 板

白カリシ 紙 紙 白カリキ。

壁 壁

靈辭ヲ加ヘタル例。

昔ハ白カリシガ、今ハ汚レタリ。

昔ハ白カリキト云ヘリ。

○次ノ設題ニテ空線ノ所ヲ過去形容詞ヲ以  
テ充テシメ又誤ヲ正サシムベシ。

水 賢りり



貴かりき人。

君ハ遅かり。

道。

朝

談が面白

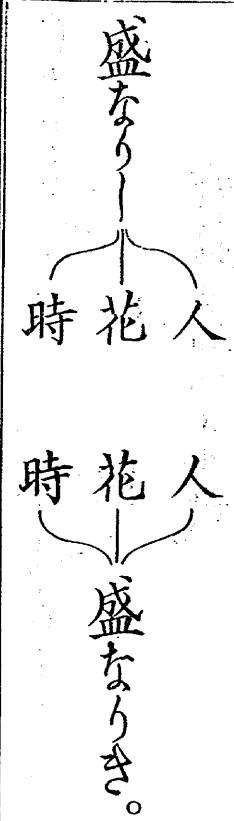
人多

此ノ書物モ

暴シ

風。

第二圖。



靈辭ヲ加ヘタル例。

前ニ盛ナリシモ今ハ衰ヘタリ。

吾ハ花ノ盛ナリシヲ見キ。

○次ノ設題ニ付キ空線ヲ充タシメ及ビ誤ヲ正サシムベシ。

人僅ナリシ。

愚ナリキ小供。

憫レ聲。

木ノ葉緑

鳥稀

豊年

夜静ナリシ。

平ナリキ道。

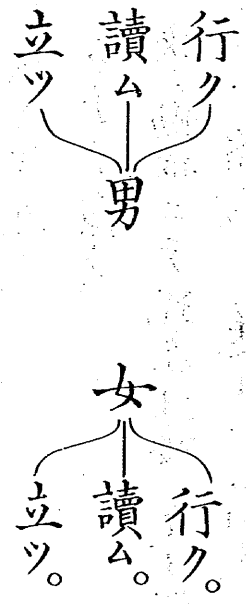
○第九課。 働詞變格。(現在直說法)

此ノ課ハ動詞ノ現在直說法ヲ教フルヲ目的トス。現在ノ中ニハ種々ノ働キ様アリ。此ニハ唯其ノ直說法ヲ教フルノミナリ。直說法トハ單ニ説キ演ブル法ニテ命令或ハ關係ナドヲ演ブルニハアラス。此ニハ前後ノ二變格アリ之レニ靈辭ヲ加フレバ種々ノ意ヲ現ハスヲ得ルナリ。働詞ノ活用先ツ此ニハ四種ヲ舉ク。  
第一。 四段ニ活ク者。

○四段ノ働詞トハ「アイウエ」ノ四横行ニ働ク者ヲ云フ。即チ行く、行き、行く、行けト云フガ如シ。

前

後



靈辭ヲ加ヘタル例

男ガ行クヲ見ヨ。  
女ハ讀ミテ在リ。  
男ハ立チテ働ク。

次ノ働詞ニテ現在直接ノ文ヲ綴ラシムベシ。  
書ク。 踏ム。 送ル。 指ス。  
酔フ。 待ツ。 買フ。 賣ル。  
繫グ。 持ツ。 保ツ。 遇フ。  
鳴ク。 聞ク。 斷ル。 飛ブ。

第二。 下二段ニ活ク者。

下二段トハ「ウ」横行及ビ「エ」横行ニ働ク者ナリ。  
假ヘバ「譽」又「譽」ト活クガ如シ。此種ノ前變格  
ハ「ウ」横行ニ入ルヲ添ヘ。後變格ハ「タ」チニ「ウ」横  
行ニ終ル。

前

譽ムむル人。

後

人譽ムむ。

遁ゲルぐる人。

靈辭ヲ加ヘタル例

狐遁ゲテ行く。

狐ノ遁グルヲ追フ。

左ハ働詞ニテ現在直説ノ文ヲ綴レ。

止ム。 求ム。 溺ル。 擧グ。

注意 此ノ種ノ働ハ俗言ニハ多ク轉ジテ下一段ノ働キト爲レリ。假へバ遁げ遁ぐト活ク詞ナルモ遁げ遁げるト活クガ如シ。即チ遁げる狐狐遁げ譽める人

譽めト云ハンガ如シ。前圖ノ左側ニ片假名ニテ書ケルハ即チ俗語ト知ルベシ。

第三 上二段ニ活ク者。

此ノ働ハイ横行及ビウ横行ニ働ク者ナリ假へバ落ち落つト云フガ如シ。前變格ニハるヲ加へ後變格ハウ横行ニ終ルコトハ前者ト同シ。但俗言ニハ上一段ノ活キニ轉ゼリ。左圖ノ左側ニ片假名ニテ書セルハ俗語ナリ。

前

木の實

木の實

後

落チつる

木の葉

木の葉

落チつ

瀧

瀧

靈辭ヲ加ヘタル例

瀧落ちて流ル。

瀧の落つるを見ル。

左ノ働詞ニテ現在直説ノ文ヲ綴レ。

閉づ 延ぶ。 盡く。 過ぐ。

第四 上一段ノ活

一段ノ活ハ唯イ横行ニ活クノミ前後ノ變格共ニ「る」ヲ加フ。即チ左圖ノ如シ。

前

衣ヲ着ル人。

衣ヲ着ル。

後

山ヲ見ル子供。

山ヲ見ル。

靈辭ヲ加ヘタル例。

テ行く。

衣ヲ着レバ温シ。

ルモ寒シ。

テ返ル。

山ヲ見レバ高シ。

ントテ來ル。

○左ノ詞ニ適當ノ文章ヲ作ラシムベシ。

射ル。 似ル。 煮ル。 干ル。 見ル。

①左ノ説題中ニ付キ空線ヲ充シ又誤ヲ正スベシ。

花ヲ取リ人。

男子ハ實ヲ取ル女子ハ花ヲ摘ミ。

池ヲ堀リ魚ヲ養ヒ。

讀ミ子供ト書ク大人。

子供ハ本ヲ讀ム。大人ハ字ヲ書ク。

風吹キ砂飛ル。

花ヲ見一人ハ靜ニ歩一。

落非木葉ハ。

○第十課。働詞ノ變格。(第一過去)

○此ノ課ハ過去働詞ヲ教フルヲ目的トス。過去ニハ數種アリ。唯大凡ニ過ギタル働キヲ示スヲ第一過去ト云フ。又第一過去ノ内ニモ唯單ニ直説スルト關係推量スル等ノ活キ様アリ。此ニハ單ニ直説スル者ヲ教フ。此レニハ前

後ノニ變格ト之レニ靈辭ヲ加ヘタル者トアリ。其働キ様ハ四段上下ノ二段及ビ一段ノ活ニテ同シカラズ。

第一。四段ノ活。

四段ノ活キニテハ前變格ハ「横行ニ」ヲ加フ。假ヘハ「行き」人「讀み」書ト云ハンガ如シ。行き「ノ」き「讀み」ノ「み」ハ「横行ノ音ナリ。後變格ハ「横行ニ」ヲ加フ。假ヘハ「行き」讀み「ト」云ハンガ如シ。又靈辭ヲ加ヘタル者ハ假

へハ「讀み」よ「行」を「ナド」ノ如シ。

行キシ

讀ミシ

男

女

行キキ

讀ミキ

立チシ

立チキ

行キシが返ラズ。

讀ミシニオモシロカリキ。

立チシヲ見テ……

○次ノ勸詞ニテ過去直説法ノ文ヲ綴ラシム

ベシ。

送ル。來タル。持ッ。歩ム。泣ク。

走ル。飛ブ。去ル。雨降ル。返ル。

止ム。擧グ。

第二。下二段ノ活。

下二段ノ第一過去ハ「エ」横行三「」ヲ加ヘテ前  
變格ト爲シ「さ」ヲ加ヘテ後變格ト爲ス。又之レ  
ニ適宜ノ靈辭ヲ加フル「」左圖ノ如シ。



前

後

譽めし人。

人譽めき。

遁げし狐。

狐遁げき。

靈辭ヲ加ヘタル者

譽めしよ依りて喜べり。

遁げしを見出して追ひ行く。

○次ノ働詞ニテ第一過去直説法ノ文ヲ綴ラシムベシ。

止ム。

求ム。

溺ル。

擧グ。

第三。上二段ノ活。

○此ノ活ノ第一過去ハ「」横行ニ「」ヲ加ヘテ前變格ト爲シ「」ヲ加ヘテ後變格ト爲ス。又之レニ靈辭ヲ加ヘタル者アリ。左圖ノ如シ。

前

後

落ちし木の實。

木の實

落ちし木の葉。

木の葉

落ちし瀧。

瀧

落ちき

靈辭ヲ加ヘタル者。

木ノ實ノ落チシヲ拾ヘリ。

木ノ葉落チシガ故ニ氣色サビシ。

○左ノ勸詞ニテ第一過去直說法ノ文ヲ綴レ。

閉ヅ。 延ブ。 盡ク。 過グ。

第四。上一段ノ活。

○此ノ活キノ第一過去ハ單ニ「」ヲ加ヘテ前變格ト爲シ「」ヲ加ヘテ後變格ト爲ス。又之レ

ニ靈辭ヲ加ヘテ種々ノ意ヲ現ハス。

前

見シ人。

後

人ヲ見キ。

靈辭ヲ加ヘタル例

山ヲ見シニ高カリキ。

見シヲ喜ブ。

○左ノ勸詞ニテ第一過去直說法ノ文ヲ綴レ。

着。 射。 煮。 見。

○第十一課 働詞變格 (第二過去)

○此ノ課ハ働詞ノ第二過去ヲ教フルヲ目的トス。第二過去ハ過去現在ニテ過去ノ働ハ今猶ホ存スル者ヲ示ス變格ナリ。此ノ格ニモ前後ノ二變格アリ。之レニソレ々ノ靈辭ヲ加フレバ種々ノ意味ヲ現ハスナリ。前變格ニハたるヲ加ヘ後變格ニハたりヲ加フ。たるハテあるノ約ニテ假ヘハ祭りたるト云ハ、昔シ祭リテ今ニ猶ホ存スルヲ云フナリ。

前

來

讀ミタル人

立ち

後

行キタリ。

人 讀ミタリ。

立ちタリ。

靈辭ヲ加ヘタル者ノ例

來タリト聞キテ迎ニ出ヅ。

讀ミタルが面白シ

立ちタルヲ見テ座レト云ヘリ。

○左ノ勸詞ニテ前後ノ第二過去支ヲ綴レ。  
 書ク。踏ム。買フ。賣ル。  
 聞ク。持ツ。求ム。落ツ。  
 溺ル。閉ヅ。延ブ。

○第十二課 勸詞變格(ベ)ノ  
 此ノ課ハベノ諸變格ヲ教フルヲ目的トス  
 其ノ表ハ左ノ如シ。  
 現在及ビ未來。

前 讀ムベキ書。 後 書ヲ讀ムベシ。

○次ノ勸詞ニベノヲ加ヘテ現在過去ノ前後變  
 格文ヲ作レ。

吐ク。開ク。招ク。燒ク。吹ク。  
 泣ク。告ク。曲グ。汚カス。消ユ。  
 照ス。冷ス。押ス。

○第十三課。

次ノ文ノ誤ヲ正シ又空線ヲ適當ナル詞ヲ以テ填ムベシ。

墨ヲスリシ。 字ヲ書キシ。

持ツ筆ニテ字ヲ書キタリ。(持テル筆)。

花開クベキ。 招クベシ人。

字ヲ寫スベシ(第一過去) 來ルベシ人。

流レズ水。 雨降ラザル。

出デ一月。 水冰ラザル。

落チタリ葉。 光リタリ月。

水澄タル。 木ノ葉落タル。

時來タリバ學校へ行ケ。

火ヲ燃シタリバ温カシ。

吾ハ呼ビタリニ彼答ヘズ。



